

No. 1417

行政相談制度25周年

行政相談制度25周年、行政相談委員制度20周年を記念して、11月18日、明治神宮会館で記念式典が行なわれました。行政相談制度及び行政相談委員制度は、国民の行政に対する苦情を受け付け、これを解決することによって国民の権利を守ってきました。式典では行政相談業務に功労のあった人々が全国各地から選ばれ、表彰を受けました。行政相談取扱いの数は、当初わずか2000件だったものが、今では2万件にもものほり、日常生活の中で、この制度が身近なものになっていることを伺わせています。今日、内外ともに厳しい情勢下において、国民生活の一層の発展のために、両制度の果たす役割も大きくなっています。

野性の情熱

—ノルデ展—

東京・上野の国立西洋美術館では、今、ドイツ表現派を代表する一人、エミール・ノルデ展が開かれています。19世紀末のヨーロッパでは、印象主義からの脱皮をはかるさまざまな芸術運動が展開されましたが、ドイツを中心として起った「表現主義」も、その代表的な一つです。自然から受けた印象を忠実に再現しようとした印象派に対し、表現派の画家たちは、現実の背後にかくされた人間の本质を主観的にとらえ表現しました。北ドイツの農民の子として生まれたノルデは、人間生活に対する深い考察から人間味あふれる絵を描き続けました。これらの絵は見る者の心を強く打ち続けるでしょう。

太平洋横断成功

—ダブルイーグルV号—

前人未到の空の冒険に挑んだ日米4人の男たちが気球「ダブルイーグルV号」で11月13日アメリカ西海岸に到着、太平洋横断に成功した。11月9日、三重県桑名郡長島温泉。気球による太平洋横断の計画は実行に移された。この計画はロッキー青木さんら4人が計画したもので今年の3月につづいて2度目の挑戦。今回は思わぬ突風にあおられ離陸を断念せざるを得なかっただけに準備は慎重に進められた。午後10時天候晴れ、風速3メートル、すべて最高の状態だ。「ゴー」の決定が下された。いよいよヘリウムガス注入の準備が開始されたクルーの手で手際よく作業が進められていく。澄み切った秋の夜空に気球が浮び上がった。10日午前1時30分ゴンドラに4人が乗り込み、支えのワイヤロープがはずされた。いよいよ出発だ。そして2時59分オモリが捨てられると気球はゆっくりと上昇開始、アメリカ西海岸まで約9600キロの旅に飛びたった。平均時速170キロという強い偏西風に乗った気球は2日目の12日午前0時頃日付変更線を通り、13日午後3時30分サンフランシスコの北約270キロのコペロに着陸した。離陸してから84時間30分余、飛行距離は実に9280キロであった。